

申込方法について

※詳細は参加者登録システムに掲載している「募集要項（PDF）」を参照してください。

下記の方法にて**令和8年1月6日火**までにお申込みください。

- 下記サイトからお申込みください。
くお申込みWEBサイト：<http://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/hoikushikai2026/>>
- 参加登録システムより、2日目のコースを選択いただけます。
※第一希望のコースが定員に達していた場合は、他方のコースにご参加いただくこととなる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 申込完了後に、登録されたメールアドレスに申込完了メールが配信されます。
- 参加登録システム内の支払いボタンより、請求書を出力いただき、指定口座に期日までに参加費等の振込をお願いします。
※クレジットカード決済でも可。入金確認後、「参加券等」の出力が可能となります。
- 当日、「参加券」を持参し、研修会会場までお越しください。受付にて、「**参加券**」と**引き換え**に、資料をお渡しします。

留意事項

- 締切日までの変更・取消は、参加者ご自身で専用サイトを操作してください。
- 締切日以降の変更・取消は、東武トップツアーズ株式会社横浜支店までお電話またはメールにてご連絡ください。
※営業日・営業時間内にてお願いいたします。
- 参加費入金後の参加取消は原則として返金対応をいたしかねます。
- 個人情報の取扱いについて
参加のお申込みにあたりご入力いただいた個人情報は、本研修会の運営・管理の目的にのみ使用します。また、参加者名簿に、氏名・都道府県指定都市・所属名・役職名を掲載します。
- 会場の様子等を随時カメラで撮影します。撮影した写真データは、「全国保育士会 公式X(旧Twitter)」や委員ニュース、YouTube等で使用する場合がありますことをご了承ください。
- 研修会会場は外気温や人数に応じて温度調整を行いますが、個人差があるため、各自で対応できるような服装をご準備ください。

受講証明書の授与について

本研修会の全プログラムを受講した方は、全国保育士会会長名の研修会受講証明書を発行いたします。

※受講証明書は、原則、全時間の参加をもって発行いたします。遠方からお越しの方は、講義終了時間を考慮し、余裕を持って飛行機や新幹線のチケットをお取りくださいますようお願い申し上げます。

全国保育士会では、令和5年度より都道府県保育士会からの申請※に基づき、都道府県庁に対し「処遇改善加算『区分3』（旧処遇改善等加算Ⅱ）」にかかる認定研修実施主体の申請を行っています。

※指定都市がある都道府県は、指定都市保育士会と調整のうえ申請

都道府県が「処遇改善加算『区分3』（旧処遇改善等加算Ⅱ）」にかかる認定研修実施主体として全国保育士会を認定した都道府県の「認定こども園」においては、全国保育士会が実施する研修を受講した時間をキャリアアップ研修の修了すべき研修時間のなかに積算することができます。

都道府県の認定状況については、全国保育士会のホームページをご確認ください。

なお、上記の取り扱い、認定こども園のみが対象となります。

『保育活動専門員』認定制度の実施について

全国保育協議会では、保育・子育てに関係するすべての方を対象に、全国保育協議会、全国保育士会、ブロック保育協議会が主催する大会・研修会を一定回数以上受講した方に対して認定証を発行する『保育活動専門員』認定制度を実施しております。

平成19年度に開始した本制度では、これまで1930名の方が「保育活動専門員」として認定され、全国各地の保育現場で活躍されています。（詳細は全保協ホームページ<https://www.zenhokyo.gr.jp/>をご覧ください）

本研修会は認定制度の対象研修会です。[取得できるポイント=250ポイント]

全国保育協議会主催大会・研修会	①教育・保育施設長ステージアップ研修 ③全国保育研究大会	②公立保育所・公立認定こども園等トップセミナー ④認定こども園研修会
全国保育士会主催大会・研修会	①主任保育士・主幹保育教諭特別講座 ③「保育スーパーバイザー」養成研修会 ⑤食育推進研修会	② 全国保育士研修会（本研修会） ④全国保育士会研究大会
全国保育協議会・全国保育士会 共催	教育・保育研究大会	

お問い合わせ先

【研修全般に関すること】

全国保育士会事務局（担当：麥田、国分）

〒100-8980 千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
社会福祉法人全国社会福祉協議会 児童福祉部内
TEL.03-3581-6503 FAX.03-3581-6509

【お申し込みに関すること】

東武トップツアーズ株式会社 横浜支店（担当：青木、宮田、徳永、袴田）
〒231-0021 横浜市中区日本大通18 KRCビル7階
TEL. 050-9001-8749 FAX. 045-307-4892
Email : hoikushikai2026@tobutoptours.co.jp
営業時間：平日9:30～17:30 ※土曜・日曜・祝日は休業



保育活動専門員
認定制度
対象研修会
250ポイント

第**52**回

全国保育士 研修会

開 催 要 項

令和**8**年**1**月**29**日**木**・**30**日**金**

新横浜プリンスホテル

〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜3-4

令和8年度からの「こども誰でも通園制度」の全国での実施や、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定に向けた検討など、保育現場を取り巻く状況は大きく変化しています。また、子ども・子育て家庭が抱える課題はこれまで以上に多様化しており、保育所・認定こども園では、通園している子どもや保護者だけでなく、地域のすべての子ども・子育て家庭への支援が求められています。

そうしたなか、保育者は、これまでの実践をあらためて振り返り、専門性を向上させるとともに、子どもの豊かな育ちに向けた専門職としての役割を再認識することが重要です。

そのためには、保育所等のリーダー的職員が中心となって、保育士・保育教諭等がやりがいと誇りを持って専門性を発揮できる職場づくりや、社会の変化に対応した役割を果たすことが求められます。

本研修会は、主任保育士・主幹保育教諭やリーダー的職員、次代のリーダーとして期待する職員の知識・技術を向上させ、子どもの豊かな育ちに向けた自己研鑽の場とすることを目的に開催します。

対 象 主任保育士・主幹保育教諭、
保育所・認定こども園等のリーダー的職員、
次代のリーダーとして期待する職員 等

定 員 500名

参 加 費 15,000円(全国保育士会会員および
全国保育協議会会員施設の職員等)
20,000円(その他の一般参加者)

主 催 社会福祉法人全国社会福祉協議会・
全国保育士会／全国保育協議会

実施主体 全国保育士会

後 援 こども家庭庁（予定）

日 程	
1月29日 ^木	9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 17:00
1月30日 ^金	9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 17:00

1日目	1月29日 ^木 13:00～17:00	プログラム
12:00～13:00	受 付	
13:00～13:15	開会式	
13:15～14:00 (45分)	【行政説明】 保育をめぐる国の動向と課題（仮題） 講 師：こども家庭庁 成育局	
14:00～14:45 (45分)	【基調報告】 全国保育士会の取り組みと令和8年度に向けて 報告者：全国保育士会 会長 北野 久美	
14:45～15:00	休 憩	
15:00～17:00 (※途中休憩あり)	【全体研修】 テーマ 教育×エンターテインメントで広がる保育の世界～子どもの感受性を育む～ 内 容 日々の保育において、「よみきかせ」や「うた」、「あそび」は子どもの感受性や創造性、社会性を育む重要な保育実践です。保育者が楽しんで実践を行うことで、子どもはその雰囲気を感じとり、主体的に物事にかかわり楽しむことができるようになります。 本研修では、長年保育現場で親しまれている「絵本」や「うた」の生みの親である中川ひろたか氏、鈴木翼氏に、「よみきかせ」や「うた」、「あそびうた」の実演をいただくとともに、絵本や音楽、あそびがもつ「心を豊かにする力」を、子どもの視点から再認識し、子どもの心が動く瞬間を体験します。 そして、子どもの笑顔を引き出す「音楽」「絵本」「あそび」の持つ力を再確認し、保育者自身が表現すること、楽しむことの大切さに立ち返り、子どもの心を豊かに育むための実践について学びます。 登壇者 中川 ひろたか氏、鈴木 翼氏 (SONG BOOK Café) ＜中川ひろたか氏プロフィール＞ シンガーソング絵本ライター。保育士として5年間勤務後、バンド「トラや帽子店」を結成（2000年に解散）。こどものうたの作詞・作曲数約2700曲。代表曲に『世界中のこどもたちが』『にじ』等。『ないた』（金の星社）で日本絵本賞大賞受賞。出版された絵本は280冊以上。 ＜鈴木翼氏プロフィール＞ 私立保育園、子育て支援センター勤務後、あそび歌作家として活動開始。全国でファミリーコンサート、保育者向け講習会等に多数出演。 『かみなりどんがやってきた』『だいじょうぶ？ズコッ』をはじめ、数多くの子ども向けの楽曲を手掛け、絵本作家としても活躍中。	

2日目	1月30日 ^金 9:00～15:30	
Aコース	テーマ 子どもを地域で育てていくための「まち保育」 内 容 地域住民との触れ合いやつながりは、子どもたちの経験の幅を増やし、成長につながります。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のひとつに、「社会生活との関わり」が挙げられており、地域の人々との触れ合いのなかで、地域に親しみを持つことの大切さが示されています。 保育所・認定こども園等は、まちにあるさまざまな資源を保育に活用し、園の活動等とおして、意図的に子どもと地域住民とのつながりをつくり地域と一体となった保育をめざしていくことが求められています。このような、保育施設を含めて地域住民が一体となり、まちで子どもの成長を支える土壌づくりを「まち保育」と呼びます。 本コースでは、「まち保育」をとおして、子どもの成長の重要性やその効果、保育所・認定こども園等に求められる役割について防災の観点も交えて実践とともに学びます。	三輪 律江 氏 横浜市立大学 教授
Bコース	テーマ 子どもの主体性を尊重した保育実践 内 容 「子どもの主体性」は、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に記載されているとおり、保育実践において重要な概念であり、子どもの主体性を尊重することは子どもの健やかな成長に必要不可欠です。 保育者は子どもとかわるなかで、子どもが自発的、意欲的にかかわれるような環境を構成し、子どもが周囲の環境に興味をもって自らかかわろうとする意欲を尊重する保育実践をすることが求められています。そのため、保育者一人ひとりが「子どもの主体性」を理解し、「子どもの主体性」を尊重した保育実践の方法について知ることが大切です。 本コースでは、「子どもの主体性」や子どもの「主体性」を尊重した保育について学び、主体的な活動を促す方法などについて実践を交えて考えます。	川田 学 氏 北海道大学 教授
Cコース	テーマ 乳児期の発達とかかわりの重要性 内 容 乳児期は、自己が形成され、他者とかかわりを初めて持つなど心身の発達に重要な時期であり、この時期の保育は、その後の成長や社会性の獲得、自己肯定感の形成等に大きな影響を与えるものと考えられています。保育者は、乳児の心身の発達を促し、それに即した保育を行うとともに、子ども一人ひとりの思いや欲求、感情を受け止めながら、応答的にかかわり、子どもとの信頼関係を築くことが求められています。 そのため、保育者一人ひとりが子どもの発達過程について理解し、適切な環境で適切な経験を促すことの重要性を学ぶことが大切です。 本コースでは、乳児保育の重要性について理解を深め、発達に応じた保育について学ぶとともに、乳児への効果的なかわりや保護者への支援について、実践的な能力を身につけます。	井桁 容子 氏 保育SoWラボ代表、保育の根っこを考える会、非営利団体コドモノミカタ 代表理事、乳幼児教育実践研究家
Dコース	テーマ 保幼小の接続・連携と架け橋プログラム 内 容 国では、令和4年から3年間にわたり19のモデル地域で実施した実践・成果検証を踏まえて、令和7年度からより広く「幼児教育推進体制等を活用した幼保小の架け橋プログラム促進事業」を展開しており、現在、家庭や地域の状況にかかわらず、各地で幼児期及び幼保小接続期の教育の充実をはかるための取り組みが進められています。 保育者には、「幼保小の架け橋プログラム」が策定された背景、その意義、今後期待される改善点についての理解を深めることが期待されています。また、子どもにかかわる大人たちが、立場を超えてさまざまな連携することの重要性やポイントもあわせて学び、実践していく必要があります。 本コースでは、「幼保小の架け橋プログラム」の概要および課題点等を学び、家庭や地域の状況を踏まえつつ保育の質の維持・向上をはかり、小学校以降の育ちや学びへと接続をはかるために、園や保育者に求められていることについての理解を深めます。	北野 幸子 氏 神戸大学大学院 教授